

技能コンテストで電気機器を組み立てる学生たち
＝関市追間、中日本航空専門学校



中日本航空専門学校で技能コンテスト

機体整備の正確性競う

関市追間の中日本航空専門学校で10日、第10回航空整備科技能コンテストが開かれ、同科で学ぶ1～3年生計350人が機体整備の基本技術を競った。

学生のチャレンジ精神を養い、整備技能の向上を図るコンテスト。新型コロナウイルスの感染拡大で中止していたが、3年ぶりに開催した。

エンジンのネジが緩まないよう安全線(針金)をかける競技や、部品の大さをノギスと呼ばれる計測器で正確に測る競技など計7競技が行われ、学生たちは作業のスピードと正確性を競った。

リベット(アルミニウム合金の鉋)をたたいて指

定されたサイズにつぶす競技に臨んだ3年の宗安優和

さんは「大勢の前でリベットを打つのは初めて。周りに流されず、どんな状況でも正確な仕事を心掛けた」と話した。

(高井博文)